

60 ツルシギ

(チドリ目)

Tringa erythropus

兵庫県ランク: B

繁殖個体群:無 越冬個体群:B 通過個体群:B

環境省ランク: VU

種の概要

ヨーロッパからアジアの北部で繁殖し、繁殖後はアフリカ中部、アジア南部などに渡り、越冬する。春秋の渡りの時期に日本各地に渡来するが、本州以南では一部が越冬する。海岸近くの湿地や沼沢地、水田、ハス田などに生息することが多い。昆虫類やタニシなどの貝類、エビなどの甲殻類を採食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、本州、飛鳥、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島



写真提供：北野光良

(性別：不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、尼崎市、★明石市、西宮市、洲本市、伊丹市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、高砂市、★南あわじ市、加東市、★稲美町、播磨町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個 体 数 激 減	分 布 域 激 減	餌 の 可 用 性 の 低 下	特 殊 競 争 圧	特 殊 捕 食 圧	特 殊 繁 殖 環 境	特 殊 採 餌 環 境	ね 特 殊 ら 休 息 環 境	局 地 的 繁 殖	希 少
○	○	○				○	○		

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に3-5月と8-11月に生息する。かつては県南部で春には10数羽から数10羽の群れが普通に渡来していた。1967年4月には加古川市尾上で383羽の記録がある。近年は埋め立てにより生息環境が消失し、2-数羽が記録されるのみである。県北部でも記録されている。

保護上の留意点

生物の多様性を守ることを目的とした定期的な池干しなどによるため池の維持管理が重要。草を刈り、水を入れる休耕田があるが、この鳥には貴重な採餌場となっている。